

有限会社尾野興業運輸

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



発行日: 2024年10月15日
改定日: 2025年2月10日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11



I. ごあいさつ

かけがえのない地球環境の保全是事業活動の重要な要素として位置付けるとともに、産業廃棄物の収集運搬事業における環境負荷の低減を図り、人・地球・地域に優しい企業となることを目指します。

環境経営方針

<環境経営理念>

有限会社尾野興業運輸は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、本業である汚泥・動植物性残さの収集運搬を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的に取り組みます。

収集運搬事業における受託量の増加が、当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

制定日：2023年2月8日

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業所や車両の省エネに努めます。
 - ①電力・車両燃料の二酸化炭素排出量の削減
3. 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
 - ①受託処理量(収集運搬量)の安定的確保
 - ②当社が受託した廃棄物の処分方法は、すべて堆肥化であるため事業そのものが再資源化の一端を担っているため 受託量の増加こそがエコ活動そのものと言える。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 収集運搬における環境配慮に努めます。
 - ①収集運搬車の燃費向上
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
 - ①地域の環境美化
7. 本方針を当社の全従業員に周知徹底いたします。



制定日：2010年5月1日

改定日：2020年6月2日

代表取締役社長 尾野 守彦

Ⅱ. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社尾野興業運輸

代表取締役社長 尾野 守彦

(2) 所在地

本 社 兵庫県たつの市神岡町沢田949番地の1

TEL: 0791-62-9152 FAX: 0791-62-9153

(3) 環境管理責任者氏名と連絡先

責任者 総務部長 唐沢麻衣

TEL: 0791-62-9152

(4) 事業内容

産業廃棄物収集運搬業

(5) 事業の規模

法人設立 平成3年6月12日

資本金 2,000 万円

売上高 41,022 万円 (2023年度)

	本社
従業員	17 名
延べ床面積	1400 m ²
受託した産業廃棄物	
収集運搬量	83,397 t
車種	台数
10tダンプ	13 台
営業車	4 台
フォークリフト	2 台
	台
合計	19 台

Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 有限会社尾野興業運輸

対象事業所: 本社

活動: 産業廃棄物収集運搬業

Ⅳ. 事業の紹介



運搬した汚泥を処分業者に荷下ろし中

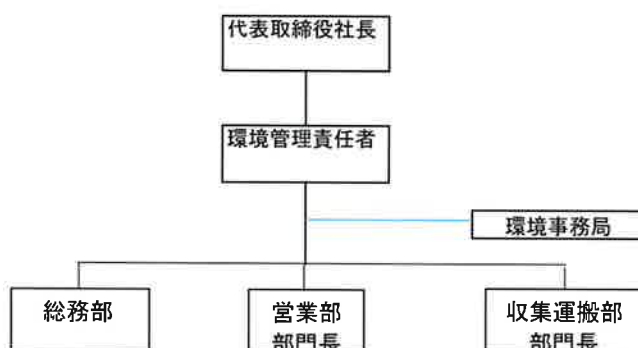


積み込み完了



産業廃棄物を積み、処分業者に向かっています

V. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 経営における課題とチャンスの明確化 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅵ. 許可の内容

(1) 産業廃棄物収集運搬業許可の内容

優良 許可	許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替 保管	廃棄物の種類																
						燃え 殻	汚 泥	廃 プラ スチ ック	木 く ず	紙 く ず	繊 維 く ず	動物系固形不要物	動物の糞尿・死体	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶磁くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	はいじん
○	広島県	第3400001756	令和3年4月13日	令和10年4月12日	無	○																
○	兵庫県	第02806001756	令和3年12月25日	令和10年12月24日	無	○	○	○	○					○						○	○	○
○	岡山県	第03301001756	令和3年11月9日	令和10年11月5日	無	○	○		○												○	
	愛知県	第02300001756	令和2年2月7日	令和7年1月27日	無	○															○	
	京都府	第02600001756	令和2年6月26日	令和7年5月19日	無	○	○	○													○	
	和歌山県	第03000001756	令和2年1月31日	令和7年1月30日	無	○															○	
	三重県	第02400001756	令和3年1月13日	令和8年1月12日	無	○	○	○													○	○
○	香川県	第03709001756	令和5年9月7日	令和12年9月6日	無	○		○														
○	大阪府	第02700001756	平成30年2月17日	令和12年2月16日	無	○	○	○	○	○	○			○	○					○	○	
○	岐阜県	第02100001756	令和4年11月10日	令和11年11月9日	無	○															○	
	石川県	第01702001756	令和4年12月8日	令和9年12月7日	無																	○

注: 愛知県・和歌山県については現時点(2025.2.10)で更新済みです。

(2) 主要取引先

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
(株)ダイセル 姫路製造所
サントリープロダクツ(株)高砂・京都工場
松谷化学工業(株)
兵庫パルプ工業(株)
丸大食品(株)高槻工場
パナソニック液晶ディスプレイ(株)
その他多数

(3) 処理業者一覧

(株)白滝有機産業
児島興業(有)
(株)日本資源開発社
谷ファーム
エコファーム
クリーン発酵(株)
日本有機(株)
ハリマ産業エコテック(株)
その他数社

Ⅶ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,405,005	1,506,299	1,572,562
受託収集運搬量	t	82.829	82.868	83.397
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出	kg	13.4	14.2	13
水使用量	m ³	1468	1,476	1,481

※二酸化炭素排出係数 0.434 kg-CO₂/kWh 2018年度の関西電力の調整後の係数

※化学物質の使用は無し

Ⅷ. 環境経営目標及びその実績

年度		基準年度	2023年度		評価 達成率	2024年度	2025年度
項目		2022年度	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
産業廃棄物収集運搬量の安定的確保	t	82,868	83,697	83,397	△	84,525	85,354
	基準年度比	2022年	101%	101%		102%	103%
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,611	2,585	2,733	△	2,559	2,533
	基準年度比	2022年	99%	105%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,503,688	1,488,651	1,569,830	△	1,473,615	1,458,578
	基準年度比	2022年	99%	104%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	1,506,299	1,491,236	1,572,562	△	1,476,173	1,461,110
一般廃棄物の削減	kg	14.2	13.2	13	○	13.2	12.8
	基準年度比	2022年	93%	91%		93%	90%
水使用量の削減	m ³	1,476	1,461	1,481	△	1,446	1,432
	基準年度比	2022年	99%	100%		98%	97%
環境に配慮した収集運搬	t/L	0.146	0.148	0.141	△	0.149	0.151
	基準年度比	2022年	101%	97%		102%	103%

注 1) 評価欄にて、○: 達成(100%以上)、△: やや未達成(95%以上)、×: (95%未満)

注 2) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度=目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、達成度=実績÷目標×100

IX. 環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

産業廃棄物収集運搬量の安定的確保	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	基準年度と比較しても運搬量を増やすことが出来た。来期以降もこの調子を保てるように努めていく。また、単価の見直しをさせていた だけだ。
・動向に応じて単価の見直しをする	○	
・処分場の確保	○	
・情報収集	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年度	6,528	6,703	6,920	5,061	6,595	6,704	6,576	7,841	7,018	7,906	8,321	6,695	82,868
2023年度	5,359	6,218	7,429	6,802	5,861	7,138	6,794	7,069	8,669	8,308	7,649	6,101	83,397

二酸化炭素排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	
・下記による		



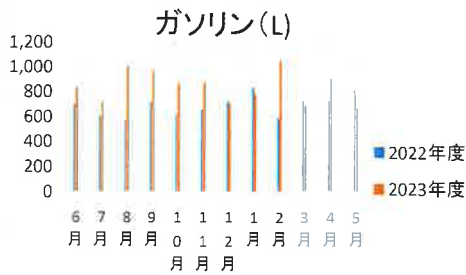
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年度	129,868	113,085	122,055	114,264	106,212	124,184	125,158	114,647	142,179	137,582	147,899	129,166	1,506,299
2023年度	119,596	126,011	121,312	125,225	132,020	140,597	118,780	126,972	148,107	140,298	141,007	132,638	1,572,562

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	建物の大きさが大きくなったせいもあるのか、エアコンの消費がは げしい。目標値を変更するか来期以降検討する。
・エアコンの温度管理(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・照明管理(未使用箇所の消灯)	△	
・省エネ機器の購入	○	

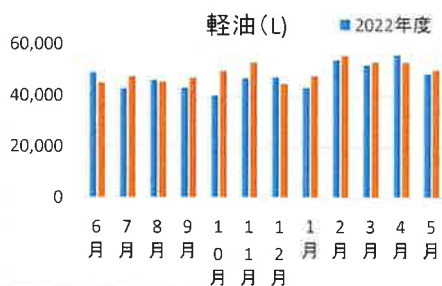


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年度	492	571	543	463	597	522	417	472	464	521	473	481	6,016
2023年度	476	436	632	514	531	529	533	536	533	531	522	524	6,297

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	軽油1L当たりの受託収集運搬量は基準年度と比較して 達成出来ました。来年度もこの調子で頑張っていきたいです。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートでの営業	○	
・適正な車両の整備	○	

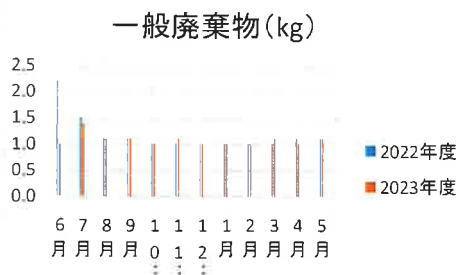


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年度	705	605	576	722	627	664	731	836	595	727	728	817	8,333
2023年度	835	720	1,007	971	870	878	711	789	1,057	692	908	670	10,108



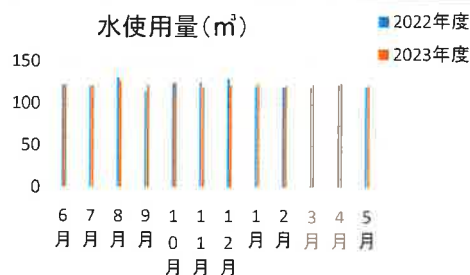
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年度	48,862	42,532	45,986	42,896	39,885	46,724	47,054	42,940	53,663	51,782	55,727	48,497	566,548
2023年度	44,829	47,386	45,306	46,851	49,531	52,798	44,618	47,675	55,505	52,848	52,929	49,945	590,221

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	倉庫の整理も行ったがなんとか達成できました。来年度は大きな廃棄物はないと予想できるため 平年並みに頑張っていきたいです。
・分別に寄るリサイクルの徹底	○	
・紙ごみをできるだけ減らせる	○	



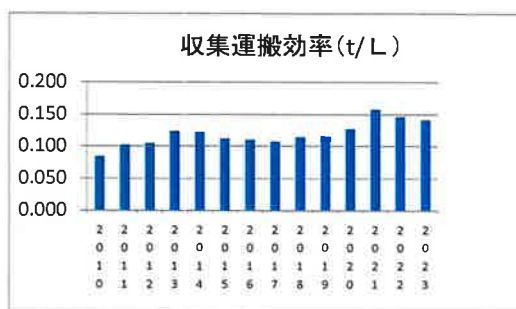
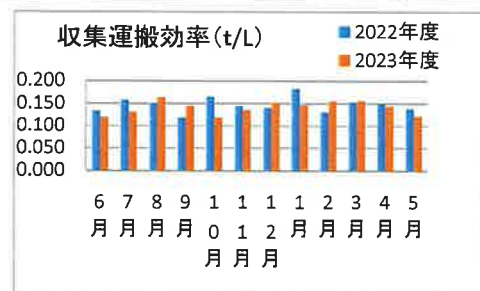
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年度	2.2	1.5	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	14.1
2023年度	1.0	1.4	1.1	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	1.1	12.9

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	受託量増加に伴い走る距離も増え 汚れが落ちにくくなるため 洗車時間が長くなったがなんとか 許容範囲内に収めることが出来ました。来年度は洗車時間を見直して洗車時間を少しでも短く出来たらと思います。
・節水意識の向上	○	
・洗車時の垂れ流し禁止	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年度	122	121	132	115	125	126	130	121	120	120	123	121	1,476
2023年度	123	122	127	123	126	121	122	125	122	123	125	122	1,481

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	環境に配慮した収集運搬は確実に達成できたため安堵する。来期以降もこの調子を保って継続していきたい。
・エコドライブ	○	
・アイドリングストップ	○	
・効率的、計画的収集	○	
・適正な車両の整備	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	平均
2022年度	0.134	0.158	0.150	0.118	0.165	0.143	0.140	0.183	0.131	0.153	0.149	0.138	0.147
2023年度	0.120	0.131	0.164	0.145	0.118	0.135	0.152	0.148	0.156	0.157	0.145	0.122	0.141

X. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正な収集運搬	遵守
自動車NOx・PM法	営業用乗用車、収集運搬用トラックの排ガス規制の遵守	遵守
消防法	防火・火災訓練、消火設備の点検	遵守
自動車リサイクル法	自動車を廃棄する場合、業者への引き渡し	対象無し
家電リサイクル法	家電を廃棄する場合、業者への引き渡し	対象無し
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検の実施、点検結果の記録、記録の保管	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。又、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

XI. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 収集運搬車両事故	
■実施日： 2023年6月2日	■実施場所 本社事務所
■参加者： 尾野 運転手9名 唐沢	■実施内容： ・事故対応、通報訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
手順書の通り出来た。実際の状況でも落ち着いてやってもらいたい。	
■実施状況の様子 車両転覆による道路へのオイル漏洩発生。実際の状況で車両が転覆した場合、運転手が無事かは疑問があるが無事と想定してやってみた。	
■ 訓練に用いた手順書 「火災対応手順書」「収集運搬車両事故による油類流出事故対応手順書」	
	

XII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

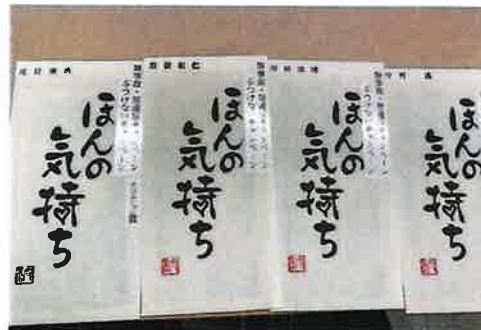
代表取締役 尾野 守彦

実施日：2024年9月7日

今年度もまた、仕事の受託量を順調に伸ばすことが出来、目標を達成することが出来た。新社屋の電気使用量や太陽光発電システムの導入による影響等まだ把握出来ないこともあるが比較できるようになった時が数値にどのような変化が出るのか楽しみです。今期はグリーン経営認証取得にもエコアクションで把握した数値をもとにチャレンジ出来ました。来年度も受託量が増加するよう営業努力を怠らないようまた 受託した仕事を適進できるよう社員一丸となって頑張っていきたいです。仕事は増加傾向だが トラックの新車がなかなか出来てこないのが問題です。仕事はあるのにトラックが足りない状態が続きます。世の中が循環型社会になっていることの指標の一つとして 弊社の受託量が目安になれるよう社員と頑張っていきたいと思います。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

XIII. これまでの環境活動の紹介



弊社は収集運搬量が増加することがエコ活動と言えるため、事故等により 車両が使えないという状況は最悪の状態と言えるため、エコ活動の一環として、無事故無違反、ぶつけない、低燃費の表彰を行い、達成できた運転手に金一封を授与しています

XIV. 編集後記

グリーン経営認証 取得しました。

(交通エコロジー・モビリティ財団(略称:交通エコモ財団)が国土交通省、全日本トラック協会と協力をし、トラック事業者が自ら環境保全に関する活動を行えるようなマニュアル作成を、それに基づき一定以上のレベルの超えた事業者を与えられる認証である。)